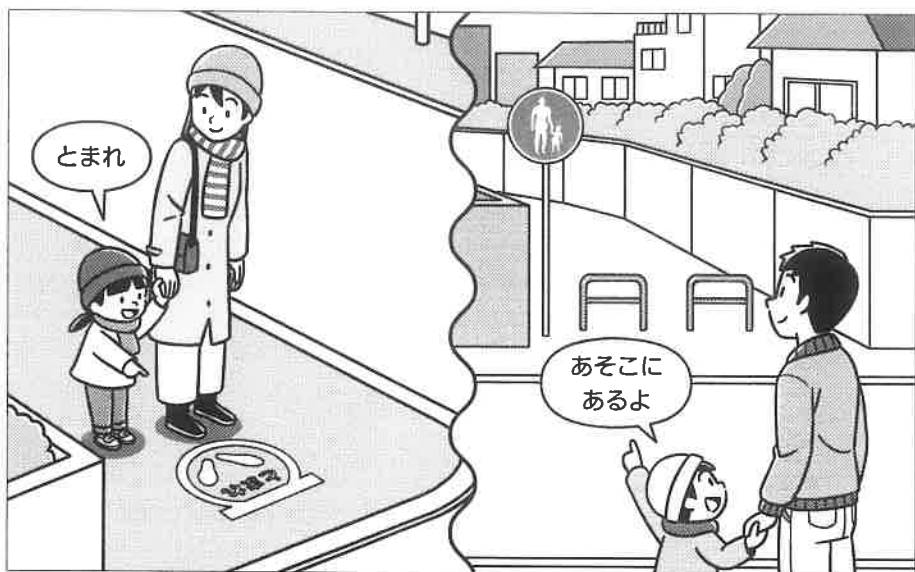




歩行者を守る道路標識の意味を 覚えて安全に歩きましょう

立春を迎え、暦の上では春が始まりました。まだまだ寒い日が続きますが、これから次第に暖かくなるにつれて、外出の機会も増えてくることでしょう。道路標識の中には、歩行者を守るためのものがありますので、しっかり覚えて安全に歩きましょう。

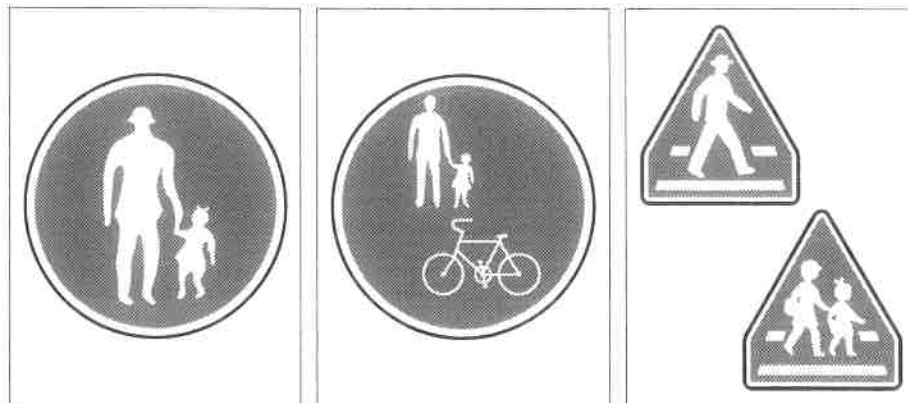
どうろの ひょうしきを さがそう



みちを あるいて いると いろいろな ひょうしきが あるね。
みんなが あんぜん に あるける ための ひょうしきも あるよ。
どんな ものが あるのか さがして いみをおぼえて おこう。

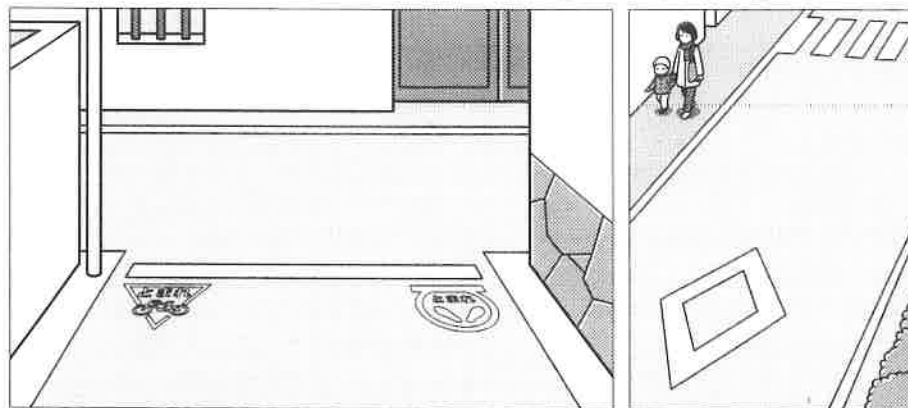
保護者の方へ 年長クラスの子どもたちは、4月からは小学1年生になり、通学時や友だちと遊びに行く時など、子どもだけで行動する機会が増えてきます。今のうちに親子で近所を散歩しながら、どこにどんな標識があるのか、どういう意味があり、気をつけることは何かを、しっかり身につけられるようにしましょう。

みちに たって いる ひょうしき



あるいて いる ひと あるく ひと
だけが とおる ことの じてんしゃだけが
できる みち。 とおれる みち。 おうだんほどうが
あると つたえる
ひょうしき。

みちに かいて ある めじるし



まわりが みえにくい まがりかどの しんごうの ない
ところにあるよ。かならず とまって おうだんほどうが
あんぜんを たしかめてから すすもう。 ちかくに あるよ。

保護者の方へ 日頃から保護者の皆さんが道路標識を意識し、安全に歩くためのルールを守る姿を見せることで、子どもたちの良い手本となるようにしましょう。

3月号では「防犯ブザーの扱いかた」
について取り上げます。